## 研修医紹介

**現在、徳島大学病院で研修中の研修医です。**

| 1年次研修医 | 2年次研修医 |
|---|---|
| 安積　麻衣 | 小笠原　梢 |
| 有田　正典 | 大西　皓貴 |
| 市原　裕子 | 笠井　可菜 |
| 岩佐　昌美 | 門田　尚子 |
| 宇高　良 | 河見　貴子 |
| 宇高　憲吾 | 近藤　真代 |
| 太田　理絵 | 太原　一彦 |
| 大政　暁 | 津川　愛 |
| 門田　宗之 | 津田　達也 |
| 小林　愛貴美 | 樋端　透史 |
| 阪梨　友 | 仁木　昌徳 |
| 﨑山　勉 | 坂東　美佳 |
| 末広　英也 | 福間　亮介 |
| 高岡　慶史 | 堀田　美美香 |
| 高柳　友貴 | 松本　早代 |
| 外礒　千智 | 三﨑　万理子 |
| 中澤　浩志 | 宮本　康雄 |
| 西山　徹 | |
| 萩野　寛隆 | |
| 原　知也 | |
| 緋田　哲也 | |
| 冨士田　祥子 | |

### 前回のNews Letter発行後に戻ってきた研修医です！

**1年次**

**大嶋　功**（おおしま　いさお）

11月より徳島大学病院にて研修します。不慣れな点や至らない点が多いとは思いますが、よろしくお願いします。

**2年次**

**阿部　容子**（あべ　ようこ）

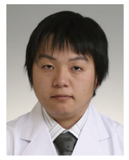
患者様に信頼される医師になれるよう、日々努力を忘れず頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。

**池田　真由美**（いけだ　まゆみ）

まだまだ未熟ですが、初心を忘れず謙虚に日々成長していきたいです。

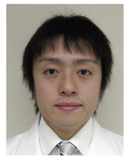
**石澤　有紀**（いしざわ ゆき）

今後は、将来選択する分野に必要となる知識と経験の習得に重点を置いて研修に励みたいと思っております。



**上野　恵輝**（うえの よしてる）

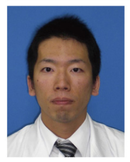
初心を忘れず、慢心せず、温かい心で診療に従事します。



**笠井　飛鳥**（かさい あすか）

医師として働き始めて1年余りが過ぎましたが、今後も初心を忘れず患者さんと向き合っていきたいと思います。

**2年次**

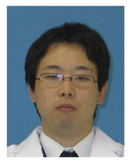


**川添　僚也**（かわぞえ　ともや）

県中から戻ってきました。短い間ですが、よろしくお願いします。

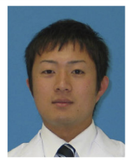
**木村　有希**（きむら　ゆうき）

誠心誠意、医療に取り組む所存です。



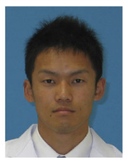
**香西　博之**（こうざい　ひろゆき）

一年半経ってもまだまだ未熟ですが、精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。



**髙島　啓**（たかしま　あきら）

こんにちは。徳島市民病院での研修を終えて戻ってきました。これからも初心を忘れずがんばります。



**玉置　康晃**（たまき　やすあき）

人とのつながりを大切に、日々の仕事に励みたいと思います。よろしくお願いします。

**平野　哲也**（ひらの　てつや）

大学に帰ってきて間もなく分からない事も多いので、気合いを入れていこうと思います。

Topics

## 徳島キッズセミナー2010

徳島県内の小中学生を対象に、外科医の仕事に興味を持ってもらうため、最新の手術を模擬体験できるキッズセミナーが2010年10月9日（土）に開催されました。抽選で選ばれた40名の児童・生徒たちは、グループに分かれて内視鏡手術シミュレーターで手術操作を体験し、内視鏡や自動縫合器、超音波凝固切開装置などの実際の手術機器を手に取り、使用方法を教えてもらっていました。消化器・移植外科の医師が中心となり、研修医や医学生が指導にあたりました。将来、外科医を目指す子どもが増えるきっかけになったのではないでしょうか？　研修医にとっても、熱心な子ども達と触れ合うことで、いい刺激となったようです。来年度に導入される内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」の展示も行われ、話題となっていました。前日には、各診療科医師にも操作する機会があり、感嘆の声があがっていました。

超音波凝固切開装置の使用法を指導。

内視鏡手術の手技を指導

News

### 西病棟1F『ホスピタルギャラリーbe』と3F『プレイルームbe』が［グッドデザインエキスポ2010］で展示されました

本院西病棟の1F『ホスピタルギャラリーbe（ビ・イ）』と3F『プレイルームbe（び・い）』が、8月27日（金）～29日（日）に開催された［グッドデザインエキスポ2010］に展示されました。

［グッドデザインエキスポ2010］とは、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する総合的なデザイン評価・推奨制度のグッドデザイン賞二次審査会終了後の会場を公開して行う、アジア最大規模のデザインイベントで、製品開発やデザインに携わってきた人々や企業がこれまでに重ねてきた努力の成果を発表し合い、評価し合い、賞賛する場です。会場である東京ビッグサイトの巨大な空間に、身近な生活用品から乗用車や建築まで、私たちのくらしと社会をとりまく、ありとあらゆるデザイン2,000点以上が一同に会し、展示数からいえば世界最大級と言えるかもしれません。

『ホスピタルギャラリーbe（ビ・イ）』と『プレイルームbe（び・い）』は、世界的なプロダクト・デザイナーで、「MUJI」壁掛け式CDプレイヤー（ニューヨーク近代美術館永久収蔵品）や「±0；加湿器」のデザインなどで知られ、2010年度グッドデザイン賞審査委員長でもある武蔵野美術大学の深澤直人教授とその学生の皆さんにプランニングを手がけていただいものです。

『ホスピタルギャラリーbe（ビ・イ）』の展示については、銀座の有名貴金属店を想わせる雰囲気で、他の大学の展示を圧倒しているという評判をいただきました。

### 徳島大学病院に“ど根性メロン”

徳島大学病院の東病棟東側入口脇に、一玉のメロンが育ちました。今年の6月頃、職員が小さな花が咲いているのを見つけ、毎日水やりをし、周りの余分な花を摘んで大きく育てたものです。「きゅうりかかぼちゃかと思いながら育てていたのが、表面に網目ができ、メロンだと分かった時は驚いた。」とのこと。

コンクリートの隙間のほんの少しの土から長い茎を伸ばし、その力強い姿に通り過ぎる患者の皆さんや職員も励まされています。このメロンは収穫され、育てた職員一同で味わったそうです。

医員募集

## 平成23年度の医員募集情報

**徳島大学病院では、下記の要領で、平成23年度の医員（3年目以降の専門医研修者を含む）を募集します。**

**平成23年度の医員募集の概要**

| | |
|---|---|
| **条件** | 医師免許取得後2年以上臨床研修を行った者または、平成23年3月までに卒後臨床研修を修了（予定）している者。 |
| **募集人数** | 170名（ただし、専門医研修希望者はすべて受け入れます）。 |
| **処遇** | 国立大学法人徳島大学有期雇用職員就業規則による。 |
| **募集のための書類** | 希望する当該診療科または<br>徳島大学総務部人事課歯本人事係にお問い合わせください。 |
| **募集の締め切り** | 平成23年1月中旬 |
| **問い合わせ先** | 採用希望される場合は、随時、各診療科または<br>総務部人事課歯本人事係までお問い合わせください。<br>人事課歯本人事係 Tel: 088-633-7018 Fax: 088-633-7474 |

### 編　集　後　記

今年の夏は例年以上の暑さでした。連日の猛暑をものともせず、病院内での研修から学会発表、広報活動と元気に過ごしている研修医の様子をご案内しました。研修医奮闘記にあるように、厳しくもあたたかい研修環境で一つ一つの経験を大切に研修医それぞれが自分たちのペースで成長しています。

今回は徳島大学病院の各診療科からのメッセージをお届けしました。卒後臨床研修や専門医研修に関すること、このニュースレターに関すること等、何かありましたら、ご連絡ください。(Y)

■ ニュースレターに関する御意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@jim.tokushima-u.ac.jp

徳島大学病院
Tokushima University Hospital
徳島大学病院卒後臨床研修センター
Tel: 088-633-9359 または 9976
Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@jim.tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp



Tokushima University Hospital
# News Letter
徳島大学病院ニュースレター2010　AUTUMN　発行: 徳島大学病院
No.12

徳島大学病院では、県立中央病院との間での「蔵本総合メディカル・ゾーン」構想の一環として、両病院間に連絡橋を架けることになりました。2年後には合計で1156床の日本有数の医療施設が実現し、一般診療から高度医療、高度救急医療が行われる環境が整い、より充実した内容の研修が可能となることが期待されます。また、大学病院内に手術手技などの多彩な医療技術をより実践に近い形で習得してもらうために「医療技術トレーニングセンター」を計画しています。来年度には内視鏡手術ロボット「ダヴィンチ」も導入し、最先端の手術技術を学べるように整備します。厚生労働省の調査では、徳島県の必要医師数は現在の1.22倍と医師不足が明らかになりました。ひとりでも多くの皆さんに徳島大学病院で研修していただき、地域に応えられる医師になっていただきたいと思います。そのために、徳島大学病院を日本でも有数の研修施設にするように、整備を進めたいと思います。

内視鏡手術ロボット「ダヴィンチ」

（2010年 秋）　病院長 **苛原 稔**

## 卒後臨床研修センター～広報活動～

徳島大学病院卒後臨床研修センターでは、研修医の獲得に向けて様々な広報活動を行っています。県外における医学部学生を対象とした大規模な合同説明会には、昨年より研修医と卒後臨床研修センターの専任スタッフで毎回、各診療科の阿波踊り浴衣を着て徳島大学病院をアピールするために参加しています。今年度は岡山での中国四国地区医師臨床研修病院合同説明会、大阪と東京で行われたレジナビフェアで PR してきました。これらの説明会を機会に病院見学に来られる県外からの学生も増加しています。

また、ホームページ（http://www.tokudai-sotsugo.jp）もアクセス数が毎月増加しており、検索サイトでは常に上位に徳島大学病院卒後臨床研修センターが表示されています。研修医の様子を発信する卒後臨床研修センターのブログも始め、ホームページから閲覧できるようになっています。研修医の状況をぜひご覧ください。

これからも楽しく実りある広報活動を行っていこうと思っていますので、今後ともどうぞご協力をよろしくお願いいたします。

レジナビフェア in 大阪（7/4、インテックス大阪にて）

レジナビフェア in 東京での徳島県ブース

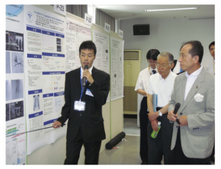
## 第4回 若手奨励賞 受賞（徳島医学会）

研修期間中に行う学会発表も大切な研修の一つです。平成22年8月1日（日）に徳島県医師会館で第241回徳島医学会学術集会が行われました。この会では、優秀な発表を行った研修医を対象に若手奨励賞が授与されます。2年前から始まった若手奨励賞ですが、年々、研修医の発表が増え、今回からは2名が選出されることになりました。16名の研修医が発表し、うち13名が徳島大学病院基幹型プログラムで研修中の研修医でした。第4回若手奨励賞は、徳島大学病院の門田宗之先生「繰り返す心不全と維持透析導入から離脱しえた腎動脈狭窄症の一例」（研修診療科：循環器内科）と田村潮先生「胃癌化学療法における消化管毒性と血清Diamine Oxidase（DAO）活性に関する検討」（研修診療科：消化器内科）が獲得しました。

同日、第3回若手奨励賞を獲得した坂東美佳先生「進行性に増悪をきたし血管内治療を施行した右内頸動脈閉塞の一例」（研修診療科：神経内科 / 脳神経外科）の授与式も行われました。

徳島医学会学術集会の若手奨励賞だけではなく、平成22年5月30日に徳島市内で行われた日本内科学会四国地方会では「研修医奨励賞」を門田尚子先生、松本早代先生、原知也先生が受賞しています。四国内のみならず、国内の各種学会、国際学会で発表する研修医もおり、一つの発表を終えるとまた一段と成長しているようです。貴重な機会を与えていただき、指導してくださる各診療科の方々に感謝しています。この場を借りてお礼申し上げます。

第3回　若手奨励賞授与式　坂東美佳先生



門田 宗之先生　第4回若手奨励賞受賞

田村 潮先生
第4回若手奨励賞受賞

## 徳島大学病院 研修医奮闘記

### 感謝の気持ち

2年次研修医
小笠原 梢（おがさわら　こずえ）

早いもので初期研修も2年目に突入しました。幼児をかかえての研修医デビューはまさかの登園拒否から始まり波乱万丈の幕開けでしたが、今や息子は立派に阿波弁を操り、夫はいつのまにか家事ができるようになり、私自身も研修医生活にようやく慣れてきました。

周囲の方々にご迷惑をかけたことも多々あったかと思いますが、卒後臨床研修センターの先生方、指導医の先生方、同期の研修医の皆さんのご理解・ご指導のおかげで充実した研修期間を過ごしています。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

誰からも信頼される医師になること（知識が足りなければ身体を動かす！）、子どもが親を必要とする時間をあまりにも無理に削らないこと、これらのバランスに敏感であること、が私の目標です。周囲のご理解に甘えすぎることなく、今後も医師として、母として、初心を忘れず研鑽を積みたいと思っています。まだまだ未熟者ですが今後とも宜しくお願い申し上げます。

### 初めての臨床研修

1年次研修医
原 知也（はら　ともや）

この春から医師としての道を歩き始めるにあたり、研修冒頭の4～6月を学生時代から興味のあった循環器内科でお世話になりました。非常に充実した日々で、終わってみるとあっという間の3ヶ月でした。

研修前は、大学病院では common disease は診療できないというイメージを持っていました。しかし、当院の循環器内科では夜間の急患から慢性期の心不全管理に至るまで、ありとあらゆる症例を学ぶことができました。また大学病院では、研修医には手技などは到底経験できないものだと思っていましたが、心臓カテーテル検査や心臓超音波検査等、非常に多彩な手技を一番手としてさせて頂き、その後には丁寧かつ的確なフィードバックを頂くことができました。

教育的な意味では、カンファレンスや県内外の学会・講演会において症例発表をする機会が与えられ、厳しくも温かいご指導のもと、大変貴重な経験をいたしました。

仕事の合間にはお花見、鮎喰川河川敷でのバーベキュー大会、ハート連として阿波踊りに参加するなど余暇も充実していて、決して楽な研修ではないですが、非常にやりがいのある毎日を送ることができました。

今現在はまた、新たな研修科での日々を送っています。これからも限られた2年間の中で、限りない経験を積み重ねていければと奮闘中です。

Topics

## ビアパーティ

レストラン室内の様子

オープンテラスにて

平成22年8月26日（木）に、西病棟11階のレストラン『Welca（ウェルカ）』にて卒後臨床研修センター主催のビアパーティを開催しました。苛原病院長、佐田センター長をはじめ、各診療科から多数の指導医、研修医を含めて、総勢83名の参加がありました。連日の猛暑が続く中、診療業務終了後のほんのひとときでしたが、研修医、指導医ともに楽しい時間を過ごしました。今回が初めての試みでしたが、新人歓迎会、忘年会に加えて新しい卒後臨床研修センターの定例イベントにしたいと思います。ご参加いただき、ありがとうございました。

# 診療科

## 内科

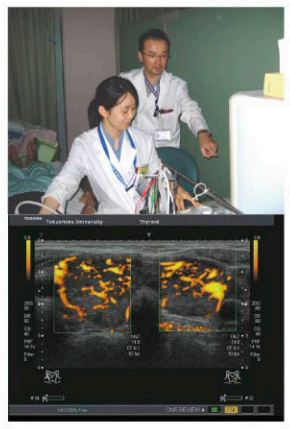
徳島大学内科には呼吸器・膠原病内科、腎臓内科、血液内科、循環器内科、消化器内科、内分泌・代謝内科、神経内科の７つの小診療科があります。

内科の後期臨床研修プログラムは初期研修 2 年間で体得した知識・診療技能を更に深め総合内科医もしくは専門内科医へとステップアップしていくように企画されています。

専門医研修システムとしては、７つの内科各診療科より選択した特定の専門領域を研修するコースと、プライマリケア志向の総合内科診療研修コース（3 ヶ月単位で複数の内科小診療科のローテーション）を用意しています。臨床研究に興味ある方は大学院に進学し同時に専門医資格取得も可能です。つまり専門医志望者にも総合内科医志望者にも、また研究志向者にも無駄なく対応できる柔軟な研修システムとなっております。指導医側も臨床研修指導医養成講習会に積極的に参加するなどレベルアップ・アップデートに努めています。

## 内分泌・代謝内科

**（科長　松本 俊夫）**

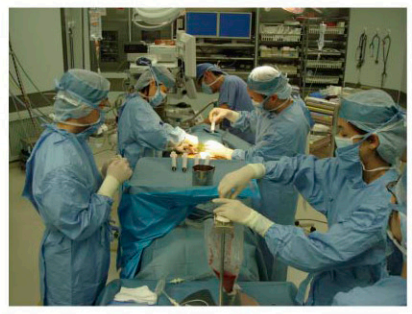


ホルモンは全身臓器の機能調節に関わり、生体のホメオスタシスの維持に必須です。このため内分泌異常症は多彩な全身症状を呈します。代謝異常症には糖尿病や脂質異常症、痛風、骨粗鬆症など頻度の高い生活習慣病が多く、その理解は不可欠です。当科では、多様な内分泌代謝疾患患者の診療を通じて、臨床医として必要とされる幅広い病態の理解と的確な診断能力、そして適切な治療方針の立案能力を身につけた医師を育成しています。

**連絡先**　松本 俊夫　toshimat@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120　fax.088-633-7121
http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html

## 血液内科

**（科長　安倍 正博）**



血液内科では、造血障害、造血器腫瘍や免疫不全を中心とした血液・免疫疾患に対し、化学療法、輸血療法、感染症治療、同種造血幹細胞移植術など幅広く診療を展開しております。このような治療の遂行においては、全身の管理が最も重要です。このため当科では全人的、総合的、かつ専門的診療のできるバランスのとれた医師の育成を目指しています。

**連絡先**　安倍 正博　masabe@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120　fax.088-633-7121
http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html

## 消化器内科

**（科長　高山 哲治）**

当科では消化器疾患全般の診断と治療を積極的に行っています。内視鏡治療では、早期胃癌・食道癌・大腸癌に対する粘膜下剥離術(ESD)を積極的に行い、肝癌に対してはラジオ波焼灼術や高度なインターベンション治療を多数行っています。また、進行消化器癌に対しては最新の分子標的治療薬を含めた質の高い化学療法を行っています。当科では、優れた研修システムを採用し、指導医と研修医が一体となって最善の医療を提供しております。

**連絡先**　岡久 稔也　okahisa@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7124　fax.088-633-9235
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=2

## 循環器内科

**（科長　佐田 政隆）**

循環器内科はプライマリケアから非侵襲的画像検査、カテーテル治療などの専門・高度医療にわたる幅広い領域をカバーしています。当科では救急集中治療部と合同で循環器救急24時間体制を構築しており，徳島県内の各種医療機関との病診連携も積極的に行っています。臨床研修については，四国はもとより東京，大阪，神戸などの県外医療機関と積極的に連携して，各自の将来設計に柔軟に対応できるプログラムを提供しています。

**連絡先**　佐田 政隆　sata@clin.med.tokushima-u.ac.jp
岩瀬 俊（卒後研修主任）　tiwase@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7851　fax.088-633-7894
http://square.umin.ac.jp/TOKUSHIM/

## 呼吸器・膠原病内科

**（科長　曽根 三郎）**

肺癌、肺炎、気管支喘息、膠原病類縁疾患を中心に、指導医・専門医のもとチーム医療を推進しています。癌、感染症、膠原病の全身病態への対応を重点的に、抗癌剤・緩和治療やステロイド・免疫抑制剤を用いる症例が豊富です。抗リウマチ生物製剤使用、間質性肺炎・睡眠時無呼吸など良性呼吸器疾患診療でも徳島県で中心的な役割を果たしています。海外留学・留学受入も常時行っており、国際感覚に富んだ医療人育成をめざしています。

**連絡先**　多田 浩也　htada@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7127　fax.088-633-2134
http://sannai.umin.jp/

## 神経内科

**（科長　梶 龍兒）**

かつては「わからない・なおらない」と揶揄された時代もあったらしいですが、時代はダイナミックに変わっております。頭の先から指の先までの神経の症状、神経難病、脳卒中（SCU）から日常遭遇する一般的な症状（頭痛・物忘れ・手足のしびれ感）に至るまでを「治る神経内科」を実践しております。ストレートな専門医試験合格にも定評があります。国内・海外への留学実績も豊富です。

**連絡先**　和泉 唯信　yizumi@clin.med.tokushima-u.ac.jp
浅沼 光太郎　dolcevita@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7207　fax.088-633-7208
http://www.neuro-tokushima.com/

## 腎臓内科

**（科長　土井 俊夫）**

腎臓内科では、県下一円から難治性の腎疾患患者を受け入れています。腎臓内科の診療活動は、ネフローゼ症候群・腎炎などの腎疾患の診断治療と慢性腎不全の透析導入の2つの柱からなっています。糖尿病、高血圧、膠原病など全身性疾患からの腎障害も多く、広く内科全般に渡る研修をしていただきます。当科での取得可能専門医：総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医

**連絡先**　土井 俊夫　doi@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7184　fax.088-633-9245
http://www.tokudai-kidney.jp/

## 皮膚科

**（科長　久保 宜明）**

皮膚科は現在、15人で毎日平均70人の外来患者、16人の入院患者を診ながら、教育、研究を行っています。過去10年間の新入医員は年平均2人です。後期研修の目標は、1)実学としての皮膚科学の習熟、2)皮膚科専門医取得、3)研究です。全て卒業後が勝負で、体力、気力をもち、他人と話ができさえすれば大丈夫です。また研究にも興味を示してほしいですね。いずれにせよ、皮膚科を選んだことを後悔することはないです。

**連絡先**　飛田 泰斗史（総務医長）　hida@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7154　fax.088-632-0434
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=17

## 放射線診断科

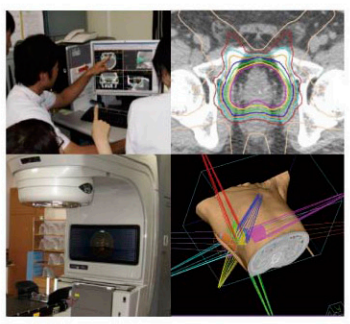
**（科長　大塚 秀樹）**

当科では画像診断（CT、MRI、核医学、超音波、消化管透視）、IVR（血管内治療、CTガイド下生検など）を行っています。現代の医療において画像診断は必要不可欠です。全国トップクラスの検査装置、画像診断システムに恵まれた環境のもと、最先端の医療に携わってみませんか。研究においても各々の分野で多くの臨床研究を行っています。また、家庭を持った女性医師でも働きやすい環境作りに努めており、そのような女性医師の入局も歓迎です。

**連絡先**　高尾 正一郎　stakao@mail.medsci.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173（内線 6089）　fax.088-633-7174
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=25

## 放射線治療科

**（科長　生島 仁史）**

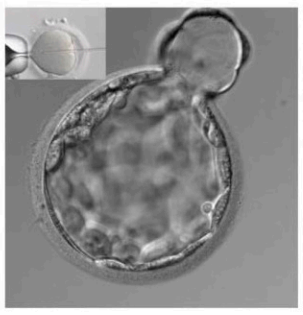


高精度外部放射線治療対応のリニアック3台、三次元治療計画装置と密封小線源治療システムを有し、年間800人を超える新規患者を受け入れています。当科では粒子線治療を除くすべての放射線治療技術の研修が可能です。また、緩和治療を含めた広範な癌診療に携わっておりますので、多くの診療科との連携の中で癌チーム医療を学んでもらい、ハイテク装置による低浸襲がん診療技術を習得したがんプロフェッショナルに育成します。

**連絡先**　生島 仁史　ikushima@medsci.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173（内線 9283）　fax.088-633-7174
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=26

## 産科婦人科

**（科長　苛原 稔）**



現在医局員は、苛原稔教授をはじめとして23名。診療面では生殖、腫瘍、周産期、女性医学の4診療部門があり、どの部門も全国でトップレベルの成績です。分娩数は年間601件、手術件数は756件（平成21年度）。研究面では6つの研究班に分かれて、基礎的および臨床的研究を行っています。教育面ではカリキュラムを組み、学生、初期研修医の指導を行っています。女性医学に興味のある人は是非連絡下さい。

**連絡先**　苛原 稔　irahara@clin.med.tokushima-u.ac.jp
桑原 章　kuwahara@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7177　fax.088-631-2630
www.tokudai-sanfujinka.jp

## 小児科

**（科長　香美 祥二）**

「私達自身の未来である子ども達の健康を守ること、一般小児科臨床の基本を習得した上で更に小児科サブスペシャルティー（専門分野）での診療能力を養うこと」を目標に、小児科は医局員一同、切磋琢磨しています。香美祥二教授のもと、伝統を守りつつも新しいことに挑戦する姿勢で、日々診療に研究に努力しています。子ども達のために21世紀の小児医療を背負う若手医師の入局を、心からお待ちしています!!

**連絡先**　渡辺 浩良　hwatana@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7135　fax.088-631-8697
http://www.tokudai-pediatrics.net/

## 精神科神経科／心身症科

**（科長　大森 哲郎）**

今、精神科医が求められています。精神科の敷居が低くなり受診が増え続ける現状に加え、教育や行政からのニーズも激増しております。精神科は非常に守備範囲の広い診療科です。自分のライフスタイルや興味に合わせて方向性を選択することができます。指導体制の充実には自信があります。精神科医になるなら徳大精神科での研修を！

**連絡先**　大森 哲郎
住谷 さつき　satsuki@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7130　fax.088-633-7131
http://www.med.tokushima-u.ac.jp/article/0015538.html

## 病理部

**（部長　坂東 良美）**

病理部は、病理・細胞診断を行うことにより、院内で実施される医療行為にevidenceを与える仕事を担っています。全国的に病理専門医数は絶対的に不足しています（徳島県では15名）。医療界全体が病理医の育成、獲得に必死になる時代が目の前に到来しつつあります。研修にあたっては、各人の事情（婚姻、子供の有無、勤務時間等）を考慮し、弾力的に対応します。若き人材の参入を心からお待ちしています。

**連絡先**　坂東 良美　yoshimi@basic.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7454　fax.088-633-9565
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory_center.html?rank_code=dept&belong_code=12

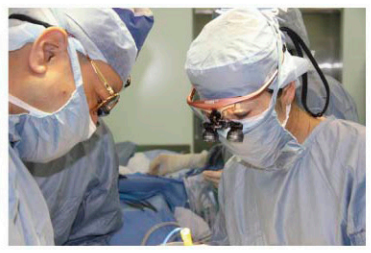
## 外科

徳島大学病院外科は消化器･移植外科、呼吸器外科、食道･乳腺甲状腺外科、心臓血管外科、小児外科･小児内視鏡外科から構成され、各科の専門医が協力し、臨床研修制度や専門医制度に対応した指導体制が整っています。

卒後2年間の臨床研修の後、徳島大学外科に所属し、まず外科専門医の取得を最優先しますが、この研修は徳島大学病院から始めることも関連施設から始めることも可能です。四国内の約40の地域基幹病院のほか九州や沖縄にも関連施設があり、十分な外科修練を受けることが可能です。サブスペシャリティーの選択は、外科所属時、外科専門医取得後いずれの時期でも結構です。その後は、最新の基礎研究を行い、医学博士号の取得、海外留学を目指したコース、臨床に重点を置き、サブスペシャリティー専門医の資格を先に目指すコース、これらをバランス良く平行して修練するコースなどを設定し、いずれにしても入局後約10年以内の医学博士号とサブスペシャリティー専門医取得を目指します。外科を重点的に研修したい人のための初期臨床研修プログラムも準備しています。

## 消化器･移植外科

**（科長　島田 光生）**



「拡大切除･機能喪失から低侵襲･再生外科へ」をスローガンに肝胆膵領域では高難度手術、集学的治療、肝移植を行い、肝胆膵外科高度技能修練施設Aに徳島で唯一認定されています。消化管では胃癌の4割、大腸癌の9割で鏡視下手術を行い、単孔式腹腔鏡手術（臍部に1カ所の創）を胆石症、虫垂炎、ヘルニア等に導入しています。鏡視下アニマルラボを含む研修プログラムも用意しています。詳しくはHPをご覧ください。

**連絡先**　居村 暁　s-imura@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7139　fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/

## 呼吸器外科

**（科長　先山 正二）**

当科は、肺癌、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍など腫瘍性疾患を中心として、ロート胸、膿胸、気胸など呼吸器外科疾患全般に関して診療を行っています。肺癌に対する胸腔鏡下手術、早期肺門部肺癌に対する光線力学方法や気道狭窄に対するステント、レザー治療なども積極的に行っています。外科におけるサブスペシャリティーとしての呼吸器外科専門医取得のための充実した修練プログラムを用意しています。外科･呼吸器外科に興味ある若人よ、来たれ！

**連絡先**　先山 正二　sakiyama@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143　fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

## 食道･乳腺甲状腺外科

**（科長　丹黒 章）**

安心して受けられる最先端医療を提供することがわれわれの使命と考え、新しい診断･治療法の開発とがんに対する研究に日夜研鑽を重ね、CTリンパ管造影によるセンチネルリンパ節術前診断、食道切除術の常識を覆す縦隔鏡下食道切除術など画期的診断治療法を開発してきました。ブラックジャックを目指す情熱と希望にあふれる未来の外科医に充実した研修と研究の場を提供し、全人的医療が実践できる外科医、がん治療医を育成します。

**連絡先**　滝沢 宏光　htakizawa@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143　fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

## 心臓血管外科

**（科長　北川 哲也）**

心臓血管外科医は、"自分の知と腕"でもって、病む患者さんの生きようとする力を支えてあげることのできる、やりがいのある仕事です。暖かい心と勇気を持ち、夢と情熱のある方は、当科で専門医研修をしませんか。君たちの想いに応えます。現代の社会環境でこそチャンスです。
"Chance favors only the prepared mind !!"次代を担うのはあなたです。

**連絡先**　北市 隆　kitaichi@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7581　fax.088-633-7408
http://www.toku-cvs.umin.jp/

## 小児外科･小児内視鏡外科

**（科長　嵩原 裕夫）**

1）小児外科の広範な疾患に対する治療：四国の小児外科の中心的施設として、胸部、腹部をはじめ小児悪性腫瘍および、泌尿器科領域まで広範な疾患をカバーしています。

2）小児外科領域での鏡視下手術：独自に開発した小児鼡径ヘルニアに対するLPEC法を865例（1280件）施行した他、ヒルシュスプルング病、鎖肛、先天性腸閉塞などを含む新生児外科疾患に対し、鏡視下手術を積極的に行っています。

**連絡先**　嵩原 裕夫　takehara@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7137　fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/

## 泌尿器科

**（科長　金山 博臣）**

泌尿器科では、関連病院のほとんどが泌尿器科研修制度の基幹病院かつ透析認定施設であり、症例も多く充実した研修が受けられ、泌尿器科専門医の習得とともに透析専門医の習得も可能です。大学および手術件数の多い基幹教育施設での研修を原則としており、腹腔鏡技術認定医、性機能認定医、腎移植認定医等の研修･習得も可能です。希望に応じて大学院進学、留学もできます。泌尿器科に興味のある先生の入局を大歓迎します。

**連絡先**　金山 博臣　kanahiro@clin.med.tokushima-u.ac.jp
井崎 博文　hirofumi@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7159　fax.088-633-7160
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=10

## 眼科

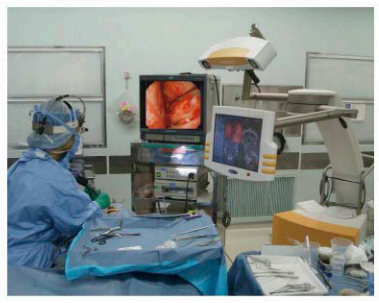
**（科長　三田村 佳典）**

人間は外界からの情報の90%を視覚から得ており、高齢化社会を迎え眼科学の重要性は増すばかりです。当教室では網膜硝子体、緑内障、角膜、斜視弱視、ぶどう膜炎、眼瞼眼窩といった広範囲の専門分野を研修することができます。また、独自の小切開硝子体手術器具を考案し質の高い網膜硝子体手術を行っており、日本で唯一AlphaCor（人工角膜）の手術も行っております。ぜひ、我々とともに活気あふれる教室を作ってゆきましょう。

**連絡先**　江川 麻理子　emari@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7163　fax.088-631-4848
http://www.tokushima-ganka.jp（H22年11月完成予定）

## 耳鼻咽喉科･頭頸部外科

**（科長　武田 憲昭）**



現代の耳鼻咽喉科･頭頸部外科は、頭頸部の感覚運動医学、機能再建外科、頭頸部腫瘍外科を担当する科です。徳島大学耳鼻咽喉科では、耳鼻咽喉科の全ての担当範囲において国際トップレベルの医療を導入し、明るく楽しく積極的で、個性を尊重して個性を伸ばし、世界一の耳鼻咽喉科をめざしています。徳大耳鼻科で頭頸部のスペシャリストをめざしませんか？

**連絡先**　阿部 晃治　kabe@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7169　fax.088-633-7170
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=15

## 整形外科

**（科長　安井 夏生）**

整形外科は骨や筋肉・関節・神経など運動器を幅広く扱う診療科です。

骨大工的な要素は多分にありますが、骨は生き物であるところが大工さんとは異なります。整形外科は守備範囲が広く、なかなか一人前にならない一方で、誰でも努力すれば一流になりえるところが魅力です。徳島から世界にはばたく骨大工になりませんか。

**連絡先**　安井 夏生　nyasui@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7240　fax.088-633-0178
http://www.geocities.jp/ksairyo/orthop.html

## 脳神経外科

**（科長　永廣 信治）**

脳神経外科疾患には、救急医療から慢性期疾患まで幅広く対応します。脳血管障害、神経外傷は救急医療の多くの部分を占めており、救急医療の習得が可能です。徳島大学脳神経外科の後期研修プログラムでは脳神経外科疾患を全般的に経験することが可能であり、到達目標を明確に定めており、有意義な研修ができます。後期研修修了後は、豊富な疾患カテゴリーの中から、自分の興味や特性に合った専門分野を選択することができます。

**連絡先**　里見 淳一郎　jsatomi@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7149( 内線 3246)　fax.088-632-9464
http://www.neurosurgerytokushima.com/index.html

## 形成外科･美容外科

**（科長　中西 秀樹）**

当科での研修は 2 つの行程があり、専門医を取得するための専門医研修（4～6 年間）と、その後の専門分野の強化研修になります。1 年目は、大学病院で形成外科の基礎知識と技術の習得のための研修を行い、2 年目以降は関連病院で研修になります。主に四国各県の国公立病院で特色のある臨床研修を受けることが可能です。また、大学院での研究活動、さらに専門医取得後になりますが、海外・国内留学のチャンスも十分にあります。

**連絡先**　清家 卓也　seike@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7296　fax.088-633-7297
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=18

## 麻酔科

**（科長　大下 修造）**

初期研修プログラムではどの科に進んでも必要な呼吸循環管理ができることを目標としています。特に、気管挿管が自信を持ってできることを最低目標としています。後期研修プログラムでは大学と関連病院をローテーションすることであらゆる症例や状態に対応できる麻酔科医を育成し、また麻酔科関連の研究で世界に貢献できる教室を目標としています。

**連絡先**　堤　保夫　anesth@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7181　fax.088-633-7182
http://www.med.tokushima-u.ac.jp/article/0015541.html

## 救急集中治療部

**（科長　西村 匡司）**

集中治療医、救急医は、あらゆる疾患に対応できる知識、診断能力、技術が必要です。重症患者の予後は専門医、専従医が治療方針を決定することで有意に改善することが知られています。当救急集中治療部においてもclosed policyを導入して以降、治療成績が著明に向上しており、どの施設にも負けないレベルです。集中治療や救急医療を専門にし、病院の医療レベルを支える仕事をしたいと考えている方は是非ご連絡ください。

**連絡先**　今中 秀光　imanakah@clin.med.tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9347　fax.088-633-9339
http://210.238.184.54/~toku_icu/

**研修するならぜひ徳島大学へ！**